



2014～15 年度  
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

# Weekly Report Niigata



2014～15 年度  
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹



2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 11 月第 3 例会 (2014.11.18) No.3064

## (1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

## (2) 高橋 秀樹会長挨拶

国際ロータリーの六つ重点分野の一つに「基本的教育と識字率の向上」があり、これまで三度ほど教育関係のお話をさせて頂きました。9月16日のマララ・ユスフザイさんのお話と、10月8日の識字率のお話、そして10月14日の親が息子に勉強の大切さを説く古代エジプトの話でした。私は教育関係の仕事をしておりますので、さらにもう少し教育関係のお話をさせて頂きたいと思っております。

さて、「スパルタ教育」という言葉は、おそらく誰もが知っているかと思っております。現在では、厳しい教育を行うという意味で口にされますが、では、「スパルタ教育」とはもともとどのようなものであったかということについては、ご存じのかたはあまり多くないかと思っております。

スパルタは古代ギリシア文明で栄えた国の一つでした。古代のギリシアは、無数の小国が群雄割拠する状況にありました。スパルタは、今スライドに映しております地図に見えますように、ギリシアの南部に位置しております。実際に訪れてみると、写真のように、山に囲まれた穏やかな土地になっています。この土地を拠点としたスパルタは、紀元前8世紀ころに、つまり今から2800年ほど前に周辺に勢力を伸ばしていき、近隣のいくつかの都市だけではなく、山脈を越えた西方のメッセニア地方というところまで征服することになります。しかし、スパルタ人の成人男子市民の数は、それほど多かったわけではなく、公式には9000人程度で、征服した人々はおそらく10倍以上だったと推測されます。常に反乱の機会を狙っている圧倒的多数の人々を抑えておくために、スパルタ人成人男子全員が一騎当千の戦士となることが必要でした。そのために生まれたのが「スパルタ教育」のシステムです。

子どもが生まれると、すぐさま公の場で長老たちが育ててよいかどうか審査し、強く育たないと判断されると山の中に捨てられました。赤ん坊のときに生きることが許されたその時点で、スパルタ人は既にエリートの集団でした。この選別に親が口をはさむことは許されませんでした。子どもは社会全体のものであって、個別の親のものではない、という考え方があったからだと思います。

男の子は7歳になると、親から離れ、集団生活に入ります。その共同生活の中で日々技術にも精神的にも徹底した

軍事訓練を受けて育ちますが、この共同生活が大人になってからの軍隊での部隊の編成と所属に連結していくことになります。身体を頑健にするため、髪の毛を剃り、裸足、裸で遊びますが、12歳になると下着を着けないようになり、年に一着支給される上着だけで過ごすようになります。

子どもたちに支給される食事は、少なめに抑えられています。お腹が空いたら、野菜畑や大人たちの食事の場所に忍び込んで食料を盗んでくることが奨励されますが、それなのに、盗みの現場で捕まるとこっぴどく叱られます。その理由は、盗みそのものが悪いからではなく、下手な盗みをしているようでは将来優秀な戦士になれないから、ということでした。罰として酷く打ち懲らしめられ、食事が抜かれました。これに関して有名なエピソードがあります。ある子どもが、食料用の子狐を巧みに盗み、上着の下に隠して持ち出した。しかし、その子狐がまだ生きていたために、爪や歯で少年の腹をかきむしりました。それでもその少年は隠し通すために我慢し続け、そのまま絶命したのです。これこそスパルタ少年の鑑だということで語り伝えられていたようです。

二十歳になると、成人して軍隊に編入され、結婚もできましたが、集団生活は三十歳まで続きました。食事も集団で行うので、夜に短い時間だけ家に戻って妻と過ごすだけでした。三十歳を過ぎるとそれぞれの家で生活することが許されますが、男子市民は家から食料をもちよって、軍隊の仲間と共同で食事を摂るきまりでした。日々の生活のすべてが、軍隊の鉄の規律の下に営まれていたのです。

他方、男の子と異なり、女の子は親元で育つことが許されましたが、生まれた時に選別されるのは男の子と変わりはありません。女の子も強くなければ、将来立派な子どもを産むことはできない、と考えられたからです。そして女の子も、競走、格闘、円盤投げ、槍投げの訓練を受けて育ちました。こんなエピソードもあります。五人の息子を戦場に送り出した母親のところに、その戦場から帰って来た者が、彼女の息子全員が戦死したことを告げました。するとその母親は、そんなことより我が国はどうなったのかと尋ね、勝利したことを知ると、それなら喜んで息子の死を受け入れようと言ったそうです。

また、ある母親は、息子が戦場で敵の手を逃れて生き残ったと知ると、息子に手紙を書き、広まっている悪い噂を打ち消しなさい、あるいは、自分の命を絶ちなさいと命じ

たそうです。

「スパルタ教育」とは、このように、粒の揃った最高級の戦士集団をつくりあげるといふ強い目的を持ち、国家の全てを総動員した全体的なシステムでした。これほどの体制を整えたスパルタは、いわば当然の結果として、古代ギリシアの最強国家となりました。

くれぐれも誤解の無いようお願いしたいのですが、私自身は古代スパルタの軍国主義教育が良いものだとは全く思いません。ただ、人材育成こそ国の礎であることを強く意識し、老いも若きも男も女も、総力を結集して、理想と考へた教育体制を貫き、国を挙げてあらゆる努力を惜しまなかったということには、見るべきところがあるのではないのでしょうか。

今回の会長挨拶では、このようなスパルタ人が、最もその真価を發揮した出来事を、一つだけ取り上げて紹介したいと思います。本日の会長挨拶は以上です。

### (3) 委員会報告

・小田職業奉仕委員長より、本日の職場訪問について

本日の職場訪問(アグリパーク&食と花の交流センター)参加者は事務局を入れまして、13名となりました。小型バスを用意致しましたので、例会終了後イタリア軒前よりご乗車願います。

### (4) 各種ご寄付の発表

**ロータリー財団寄付発表(織戸 潔副委員長)**

石本隆太郎

**米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)**

石本隆太郎君 徳永 昭輝君

**青少年育成基金寄付発表(山田 隆一委員長)**

塚田 正幸君

### (5) ニコニコボックス紹介

・本間 疆君 久しぶりに及川先生の講演を拝聴できうれしく思います。また、プログラム委員会のお手配に感謝致します。

・坂本 務君 結婚記念日の美しいお花、ありがとうございました。自宅から通勤していたときには、よく慌てて当日の帰宅途中に購入していたものです。新潟に来てからは、思い出しても距離があり、今回は助かりました。妻からもお礼のメールが来ました。RCのご配慮に感謝します。

・高橋 秀松君 この度、長年生活を共にしてきた、彼女と別れることができました。彼女は知らず知らずのうちに、私のふところに入り込み、毒をまき散らしていたようです。1週間酒を断ったのち、あっさり出て行ってくれました。また同居復縁を迫られても、絶対に同意しないつもりです。彼女の名前は、ミスピロリ(ピロリ菌)です。

### (6) 卓話

**「生糸・炭染・藍染日本列島広域連携軸新製品  
創出イノベーションについて」  
新潟薬科大学名誉教授 及川 紀久雄 氏**



(7) 本日の出席率 67.37 %

(2週間前メーク後 81.92 %)

11月25日の例会予定

会員スピーチ

**「防災減災・文化財の耐震診断と改修」**

**清水建設(株)新潟営業所 所長 森井 満男 さん**

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>